

# 蓮田市50年の歩み

現在の蓮田市の基になる蓮田町は昭和29年(1954年)5月に蓮田町、黒浜村、平野村が合併して人口約1万9千人の町として誕生しました。その後、高度経済成長期を迎え、宅地開発が進み、昭和45年(1970年)には人口が3万人に達し、昭和47年(1972年)10月1日に市制が施行されました。

蓮田市誕生後、各所で土地画整理事業や大規模な宅地開発が進められ、都心から40km圏内のベッドタウンとして発展してきました。都市機能と自然の安らぎが共存する蓮田市、市制施行から50年の歩みを振り返ります。

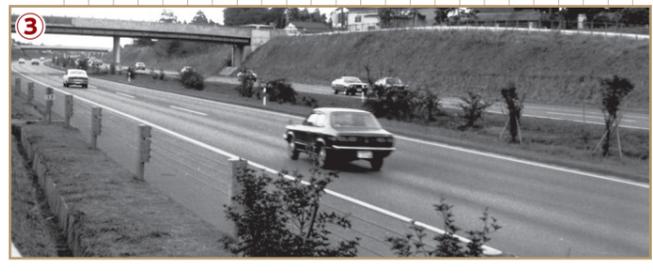
## 映画「あの日のオルガン」の舞台 日本初の集団疎開保育園があった妙楽寺(高虫)

昭和19年(1944年)11月、戦火を逃れた東京の保育園児53人と保育士11人が妙楽寺に身を寄せ、日本初の集団疎開保育園が開設されました。保育士たちは幾多の困難を乗り越え、ひたむきに保育に力を注ぎました。村人たちも食糧事情の厳しい中、村を挙げて園児たちの食料確保に取り組みなどして疎開保育園を支えました。この話を基に平成30年(2018年)に「あの日のオルガン」として映画化され、平和の尊さ、命のたいせつさを語り継ぐ実話として日本中の人たちに感動を伝えています。



昭和20年6月の疎開保育園  
写真提供 畑谷光代さん(後列左から2番目)

年	月	主な出来事
1972年	10月	市制施行(県内38番目、全国640番目、人口3万5274人) <b>写真①</b>
1973年	11月	蓮田駅の橋上駅舎完成 <b>写真②</b>
1976年	7月	東北自動車道岩槻IC・宇都宮IC間開通 蓮田サービスエリア完成 <b>写真③</b>
1977年	4月	黒浜西小学校開校
1978年	4月	黒浜西小学校開校
1979年	4月	蓮田南中学校開校
1980年	4月	蓮田南中学校開校
1981年	4月	黒浜西小学校開校
1982年	3月	南新田地区画整理事業完了(西城・西新宿地内)
1983年	4月	黒浜西学童保育所開所
1984年	4月	黒浜西小学校開校
1985年	4月	黒浜西小学校開校
1988年	1月	市役所本庁舎開設(関山から黒浜に移転)
1989年	4月	蓮田市図書館開館(中央公民館から移転)
1990年	4月	平野連絡所開所
1991年	4月	中央公民館関山分館開館
1992年	4月	市内全小・中学校、完全給食開始
1993年	4月	公共下水道供用開始
1994年	4月	西城沼公園完成
1995年	9月	全中学校にプール完成
1996年	11月	児童センター・蓮田南保育園・蓮田南学童保育所開設
1997年	2月	パルシー(総合市民体育館)開館
1998年	8月	蓮田白岡環境センター(み焼却処理施設)完成
1999年	3月	黒浜南学童保育所開所
2000年	3月	特定環境保全公共下水道供用開始
2001年	3月	蓮田駅前広場完成
2002年	4月	東保育園開園
2003年	4月	蓮田市図書館新館開館
2004年	4月	平野連絡所が農業者トレーニングセンター内へ移設
2005年	8月	消防庁舎完成
2006年	10月	彩の国まごころ国体開催 フェンシング競技会場(パルシー)
2008年	2月	環境学習館開館
2009年	2月	黒浜貝塚が国の史跡に指定
2010年	4月	黒浜貝塚(上巴)がさいたま緑のトラスト保全第11号地に決定
2011年	4月	黒浜貝塚(上巴)がさいたま緑のトラスト保全第11号地に決定
2012年	4月	黒浜貝塚(上巴)がさいたま緑のトラスト保全第11号地に決定
2013年	4月	黒浜貝塚(上巴)がさいたま緑のトラスト保全第11号地に決定
2014年	4月	黒浜貝塚(上巴)がさいたま緑のトラスト保全第11号地に決定
2015年	4月	黒浜貝塚(上巴)がさいたま緑のトラスト保全第11号地に決定
2016年	4月	黒浜貝塚(上巴)がさいたま緑のトラスト保全第11号地に決定
2017年	4月	黒浜貝塚(上巴)がさいたま緑のトラスト保全第11号地に決定
2018年	4月	黒浜貝塚(上巴)がさいたま緑のトラスト保全第11号地に決定
2019年	4月	黒浜貝塚(上巴)がさいたま緑のトラスト保全第11号地に決定
2020年	4月	黒浜貝塚(上巴)がさいたま緑のトラスト保全第11号地に決定
2021年	4月	黒浜貝塚(上巴)がさいたま緑のトラスト保全第11号地に決定
2022年	4月	黒浜貝塚(上巴)がさいたま緑のトラスト保全第11号地に決定



# 1972-2022

**50 Years of Hasuda City**  
Hasuda Town, which was the basis of Hasuda City, was established in May 1954. Eventually Hasuda Town combined with Kurohama Village, and Hirano Village to create a population of roughly 19,000 people. Later, during the period of rapid economic growth, residential land development progressed rapidly, raising the population to 30,000 people by 1970, and in October 1972, Hasuda Town became Hasuda City. Following that establishment, land readjustment projects and large-scale residential development have been carried out throughout the city, helping the city grow rapidly as a bedroom community within 40 km of Tokyo. Look back on the changes over the years since the establishment of Hasuda City, a place where urban functionality coexists with the peacefulness of nature, through this chronology, accompanied by photos.